

石巻北高等学校飯野川校 令和7年度 学校評価

目 的 飯野川校における基礎学力定着と学習意欲向上のため、年度初めに校長から提示された「教育目標実現のための視点の共有」をもとに、特に学習指導と生徒指導について、保護者及び生徒がどのように見ているか、感じているかを把握する。

対 象 全年次の生徒及び保護者

実施日 (第1回) 令和7年7月16日(水)から22日(火)
(第2回) 令和7年12月8日(月)から12日(金)

内 容 学校の教育活動全般に対する調査の【県教委指定質問項目】(14項目)と、主に「学ぶ意義や学習の必要性」、「体験と経験」、「自己評価」、「主体性」に対する調査の【学校独自質問項目】(10項目)について、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の4段階適合評価で実施した。

結果及び分析

次ページ以降に次の内容での分析結果を記した。

1. 「令和7年度学校評価 県指定質問項目 過年度比較」
 - 1 2月に実施した県指定質問項目について
 - ・保護者及び生徒の回答結果
 - ・肯定的回答割合の今年度と昨年度の比較
2. 「令和7年度学校評価 学校独自質問項目 第1回、第2回比較」
 - 1 2月に実施した第2回学校独自質問項目について
 - ・保護者及び生徒の回答結果
 - ・肯定的回答割合の第2回と第1回の比較
3. 「令和7年度学校評価 肯定的回答割合 生徒と保護者の比較」
 - 1 2月に実施した県指定質問項目及び学校独自質問項目それぞれについて
 - ・肯定的回答割合の保護者と生徒の比較

【県指定質問項目】 令和7年度学校評価(12月)アンケート結果

R7、R6
比較

保護者

回答率 81%

34 名回答 (42名中)

番号	質問内容	よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	肯定的評価割合 (R7)	肯定的評価割合 (R6)	前年比較
		肯定的評価		否定的評価				
1	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている	8	23	2	1	91.2%	86.7%	4.5%
2	お子様の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	10	20	1	3	88.2%	86.1%	2.1%
3	生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている	11	20	1	2	91.2%	83.3%	7.8%
4	お子様の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	8	21	3	2	85.3%	86.1%	-0.8%
5	生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている	12	17	1	4	85.3%	83.3%	2.0%
6	学校として、部活動は活発に行われている	4	22	7	1	76.5%	80.6%	-4.1%
7	学校として、生徒会活動は活発に行われている	5	26	2	1	91.2%	83.3%	7.8%
8	お子様にとって、有意義な学校行事がある	14	15	3	2	85.3%	83.3%	2.0%
9	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	5	25	3	1	88.2%	75.0%	13.2%
10	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	11	18	4	1	85.3%	80.0%	5.3%
11	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	11	17	5	1	82.4%	80.6%	1.8%
12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	10	20	3	1	88.2%	80.6%	7.7%
13	学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている	5	23	3	3	82.4%	63.9%	18.5%
14	お子様の学校生活は充実している	15	14	3	2	85.3%	72.2%	13.1%

生徒

回答率 95%

40 名回答 (42名中)

番号	質問内容	よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	肯定的評価割合 (R7)	肯定的評価割合 (R6)	前年比較
		肯定的評価		否定的評価				
1	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている	14	23	1	2	92.5%	88.9%	3.6%
2	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	20	16	2	2	90.0%	86.1%	3.9%
3	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている	21	15	2	2	90.0%	91.7%	-1.7%
4	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	24	11	3	2	87.5%	86.1%	1.4%
5	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている	23	14	1	2	92.5%	97.2%	-4.7%
6	学校として、部活動は活発に行われている	25	10	4	1	87.5%	86.1%	1.4%
7	学校として、生徒会活動は活発に行われている	19	14	6	1	82.5%	86.1%	-3.6%
8	自分にとって、有意義な学校行事がある	18	17	3	2	87.5%	77.8%	9.7%
9	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	19	17	2	2	90.0%	86.1%	3.9%
10	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	23	15	0	2	95.0%	91.7%	3.3%
11	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	24	12	2	2	90.0%	94.4%	-4.4%
12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	23	11	5	1	85.0%	77.8%	7.2%
13	学校として、日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる	15	19	3	3	85.0%	91.7%	-6.7%
14	自分にとって、学校生活は充実している	20	15	1	4	87.5%	91.7%	-4.2%

【分 析】

- ・保護者の評価は全体的に高い。
 - ・生徒の評価も全体的に高く、保護者よりも肯定感が高いことが分かる。
- 生徒の肯定的評価の割合は 80%以上であるが、6 項目で前年より下回っている。特に「生徒が相談したい時の体制」、「いじめ対応」、「学校生活の充実度」について、職員で検証し改善を図る。

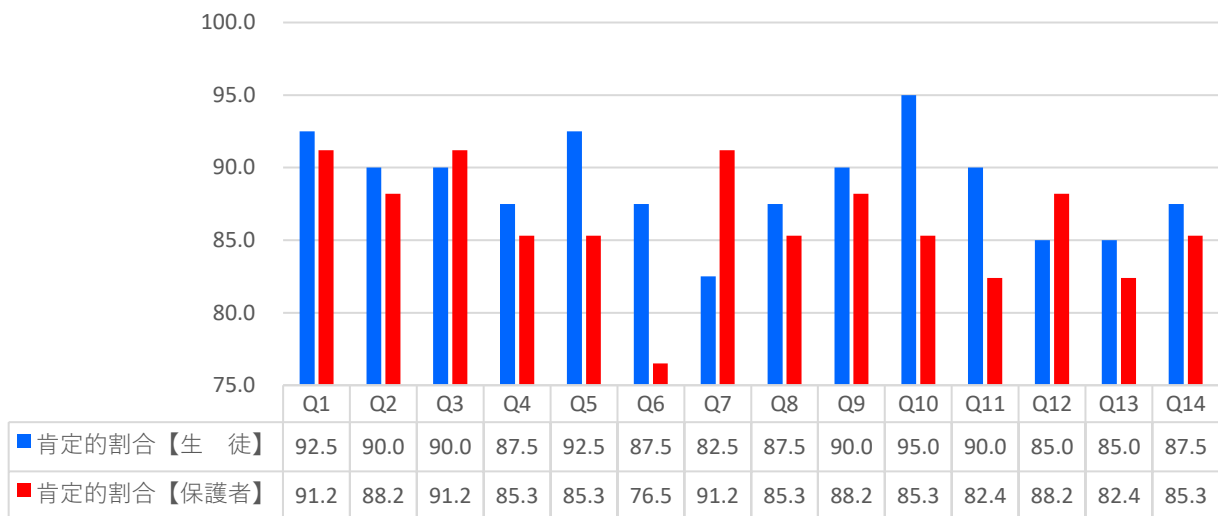
令和7年度学校評価 学校独自質問項目第1回、第2回比較

【学校独自質問】 令和7年度学校評価(12月)アンケート結果							第1回(7月) 第2回(12月) 比較	
保護者		回答率	81%	34 名回答		(42名中)		
番号	質問内容	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	肯定的評価割合(12月)	肯定的評価割合(7月)	増減
		肯定的評価		否定的評価				
Q1	授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている	16	16	0	2	94.1%	85.3%	8.8%
Q2	国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている	12	19	2	1	91.2%	79.4%	11.8%
Q3	学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている	9	21	2	2	88.2%	82.4%	5.9%
Q4	課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている	9	20	3	2	85.3%	82.4%	2.9%
Q5	他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている	7	26	1	0	97.1%	85.3%	11.8%
Q6	自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている	9	20	3	2	85.3%	79.4%	5.9%
Q7	生徒が主体であることを意識できる指導がされている	10	22	1	1	94.1%	82.4%	11.8%
Q8	様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている	10	22	2	0	94.1%	82.4%	11.8%
Q9	インターンシップやボランティア等をとおして、地域と共に生徒を育てようとしている	18	16	0	0	100.0%	85.3%	14.7%
Q10	行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている	19	15	0	0	100.0%	85.3%	14.7%
生徒		回答率	90%	38 名回答		(42名中)	※2名無回答・県指定との差	
番号	質問内容	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	肯定的評価割合(12月)	肯定的評価割合(7月)	増減
		肯定的評価		否定的評価				
Q1	授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている	19	17	1	1	94.7%	97.2%	-2.5%
Q2	国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている	22	13	2	1	92.1%	100.0%	-7.9%
Q3	学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている	21	14	0	3	92.1%	97.2%	-5.1%
Q4	課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている	20	13	3	2	86.8%	94.4%	-7.6%
Q5	他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている	21	14	3	0	92.1%	91.7%	0.4%
Q6	自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている	20	16	0	2	94.7%	94.4%	0.3%
Q7	生徒が主体であることを意識できる指導がされている	24	12	0	2	94.7%	91.7%	3.1%
Q8	様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている	21	13	2	2	89.5%	100.0%	-10.5%
Q9	インターンシップやボランティア等をとおして、地域と共に生徒を育てようとしている	25	12	0	1	97.4%	86.1%	11.3%
Q10	行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている	20	16	0	2	94.7%	94.4%	0.3%

【分 析】

- ・保護者の評価は全体的には高く、第1回と比べて肯定的評価割合が全ての項目で上昇している。
 - ・生徒の評価も全体的に高いが、第1回と比べて割合が減少した項目が半数に及んだ。
- 生徒の評価で肯定的評価の割合が減少した項目について、年度初めと年度後半で授業実践に変化があったのか、または、年度後半になり学習内容が難化し、生徒が授業についていけなくなったのか、授業担当者の授業実践に対する「振り返り」を行い、授業改善につなげる。

学校評価【県指定質問項目】 肯定的回答割合生徒、保護者比較



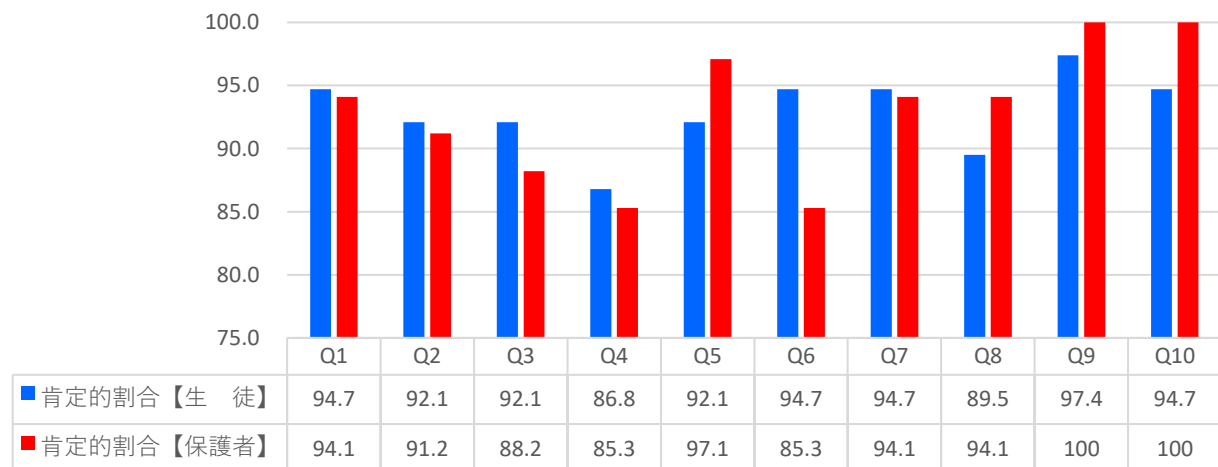
◆生徒と保護者の乖離が大きい（差が10%以上）項目

Q 6 「学校として、部活動は活発に行われている」（生徒:87.5% 保護者:76.5%）

（参考）

Q14 「災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている」（生徒：95.0% 保護者：85.3%）

学校評価【学校独自質問項目】 肯定的回答割合生徒、保護者比較



◆生徒と保護者の乖離が大きい（差が10%以上）項目はない

【分 析】

○生徒の評価は「県指定」と「学校独自」のどちらも高い。一方、保護者の評価は「県指定」が「学校独自」より低い評価となっており、上記1項目での乖離が大きい。

○乖離が大きい項目「部活動」について、一定数の保護者は満足をしていないことがわかる。

【★課題・☆改善点】

★「部活動に対して、生徒のニーズや熱量と保護者の意識や思いとのズレが生じている」

★「災害・非常時の避難方法や連絡方法について、保護者に周知されていない」

☆上記2つの課題について、PTA総会や年次だより、学校ホームページ等を使って、周知していく必要がある。特に、災害・非常時の避難方法や連絡方法については、メール配信システムへの登録を促し、情報の伝達漏れの無いよう対応しなければならない。